2026年10月20日の電力需給

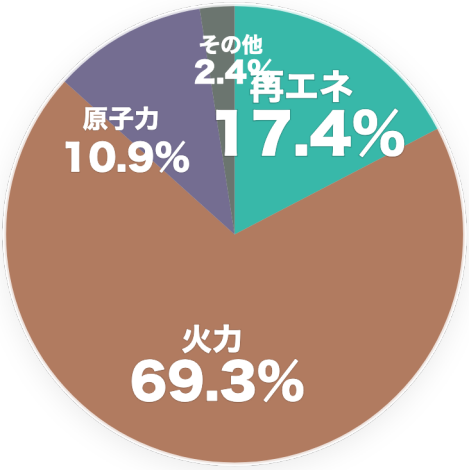
全国

△ 全国合計需要ピーク
10,995万kW
14時30分、109,947 MW
（10エリア同時刻合計）

☀ 太陽光ピーク
2,273万kW
12時30分、22,730 MW
（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
110万kW
23時30分、1,096 MW

◇ 再エネ最大需要比
30.8%
12時30分、需要に対する割合



↔ 最大受電エリア
東京
47.8 GWh

↔ 最大送電エリア
九州
36.9 GWh

概況

再エネ比率トップ

北海道 35.5%

27.2 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

58.3 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、10:00に3,375万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで35.5%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**17.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**399 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,297 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**30.8%**	12時30分
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**58.3 GWh**	発電構成比には含めない

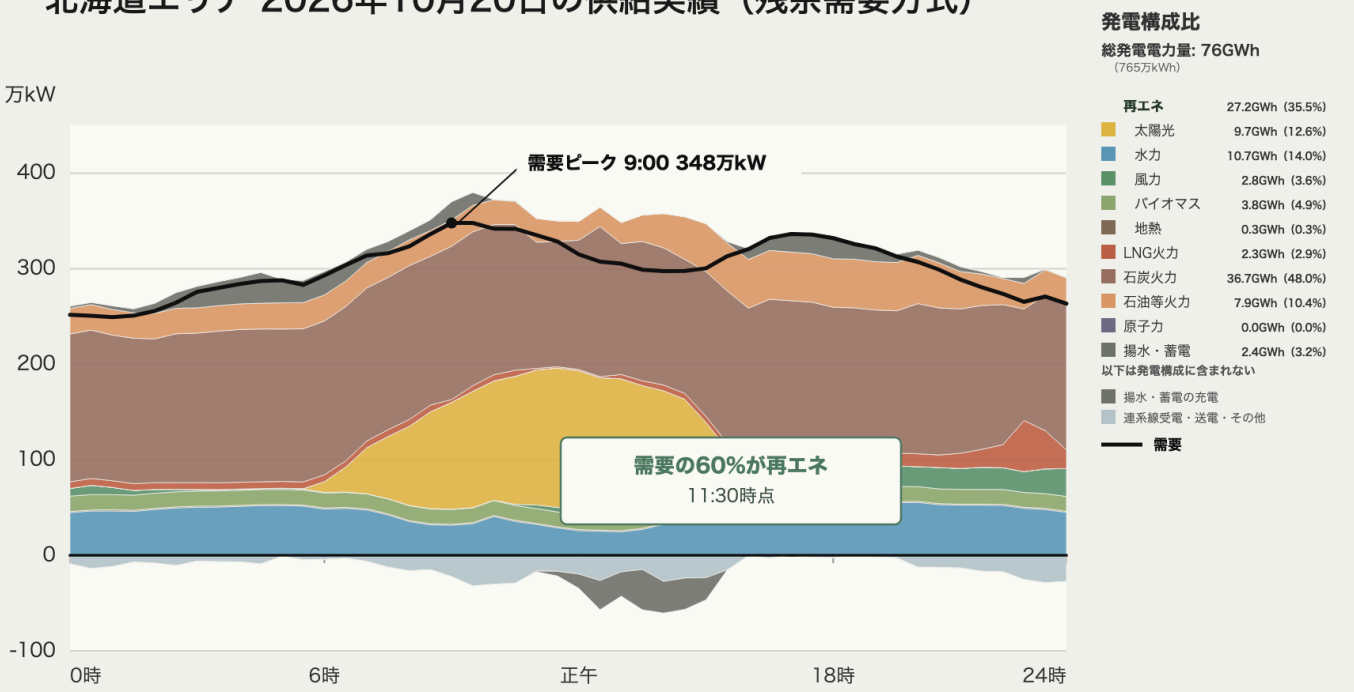
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**35.5%**	**27.2**	**0.0**	**送電 3.2**
東北	**22.8%**	**53.1**	**0.0**	**送電 31.6**
東京	**9.5%**	**64.1**	**0.0**	**受電 47.8**
中部	**20.0%**	**64.3**	**0.0**	**受電 42.9**
北陸	**30.3%**	**24.7**	**0.0**	**送電 12.3**
関西	**13.6%**	**46.5**	**0.0**	**受電 46.8**
中国	**15.4%**	**24.7**	**0.0**	**送電 3.9**
四国	**22.2%**	**22.1**	**0.0**	**送電 31.5**
九州	**24.5%**	**69.1**	**0.0**	**送電 36.9**
沖縄	**11.1%**	**3.1**	**0.0**	—

2026年10月20日の供給実績

北海道エリア

再エネ
27.2GWh
（発電電力量ベース35.5%）

北海道エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.5GWh

需要ピーク
9:00、348万kW

連系線・その他
3.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

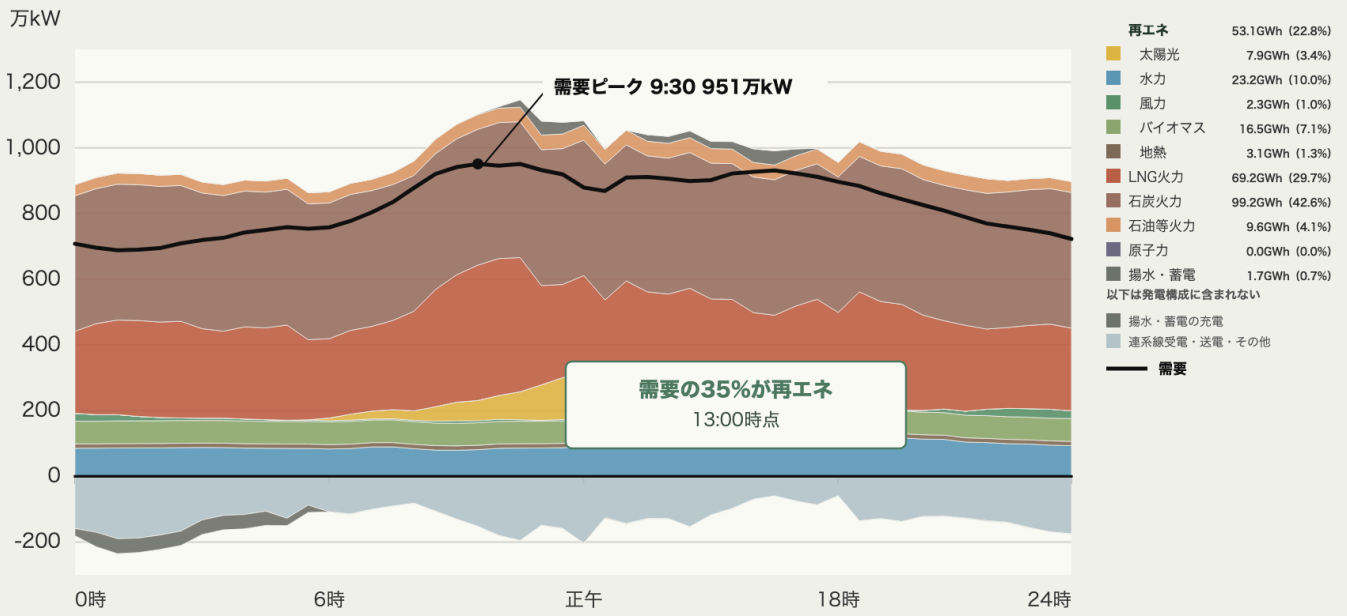
北海道は、太陽光ピーク146万kW、風力ピーク29万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.4%だった。

2026年10月20日の供給実績

東北エリア

再エネ
53.1GWh
（発電電力量ベース22.8%）

東北エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
232.8GWh

需要ピーク
9:30、951万kW

連系線・その他
31.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

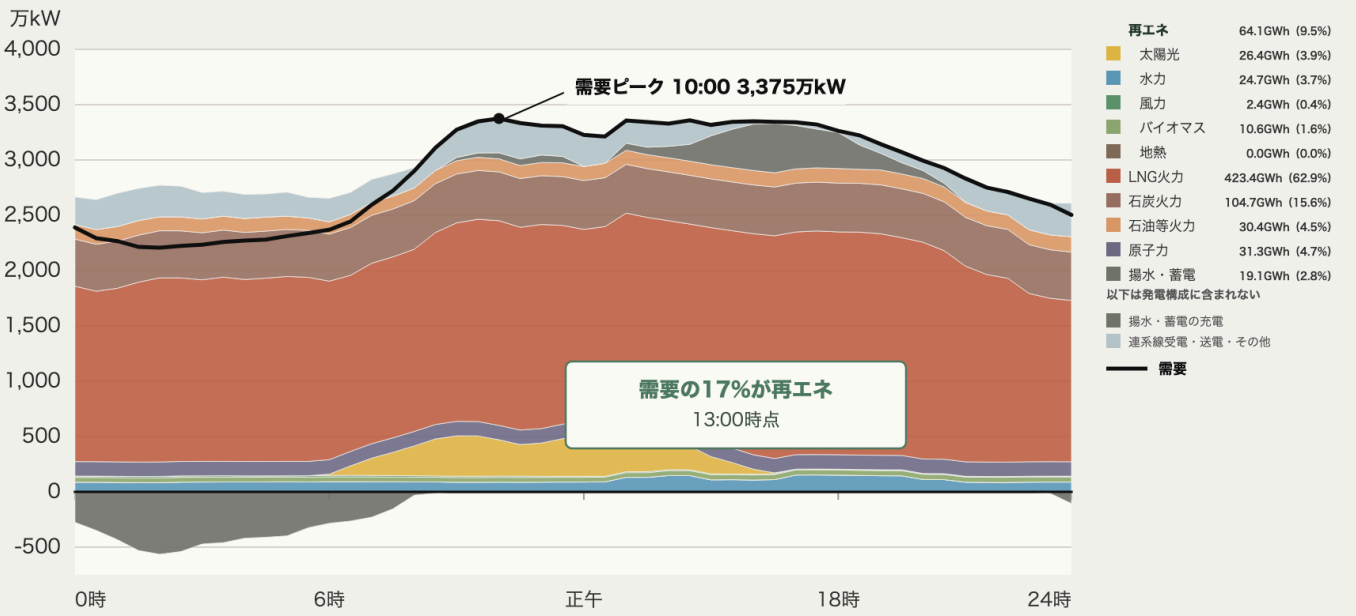
東北は、太陽光ピーク138万kW、風力ピーク28万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.9%だった。

2026年10月20日の供給実績

東京エリア

再エネ
64.1GWh
（発電電力量ベース9.5%）

東京エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
672.9GWh

需要ピーク
10:00、3,375万kW

連系線・その他
47.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
31.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

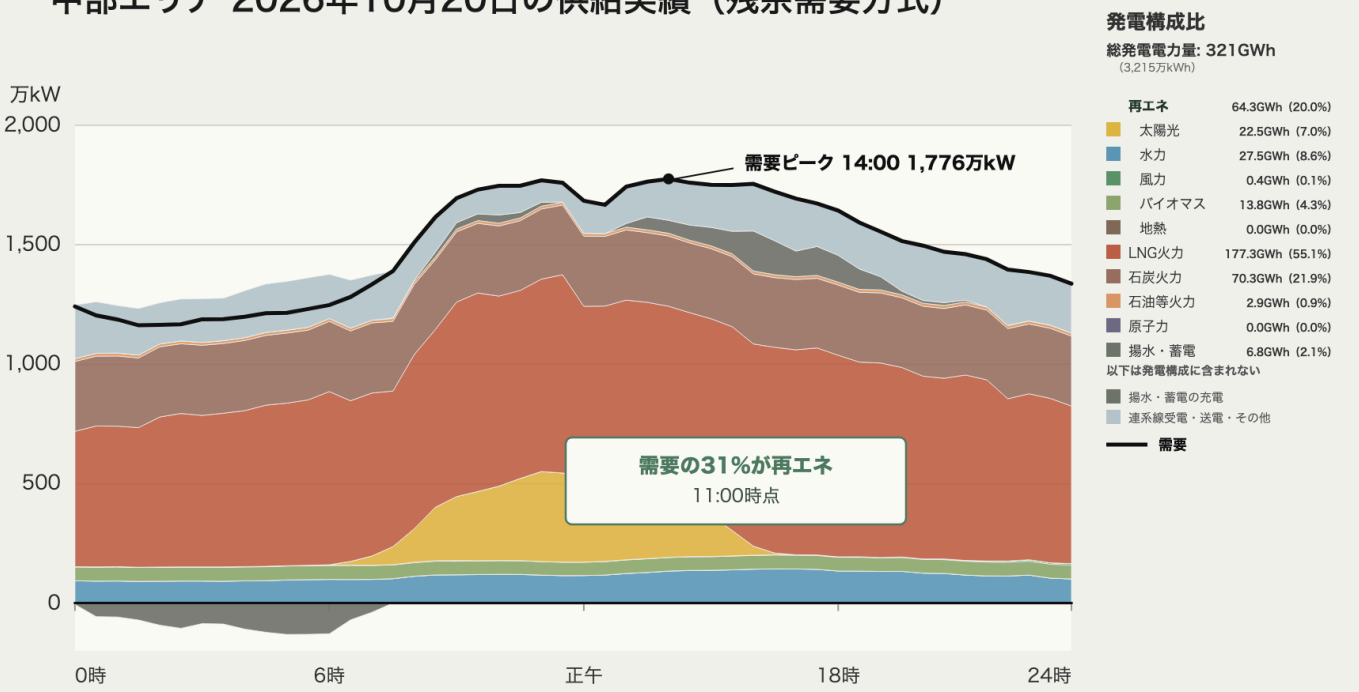
東京は、太陽光ピーク402万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は16.9%だった。

2026年10月20日の供給実績

中部エリア

再エネ
64.3GWh
（発電電力量ベース20.0%）

中部エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
321.5GWh

需要ピーク
14:00、1,776万kW

連系線・その他
43.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
6.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

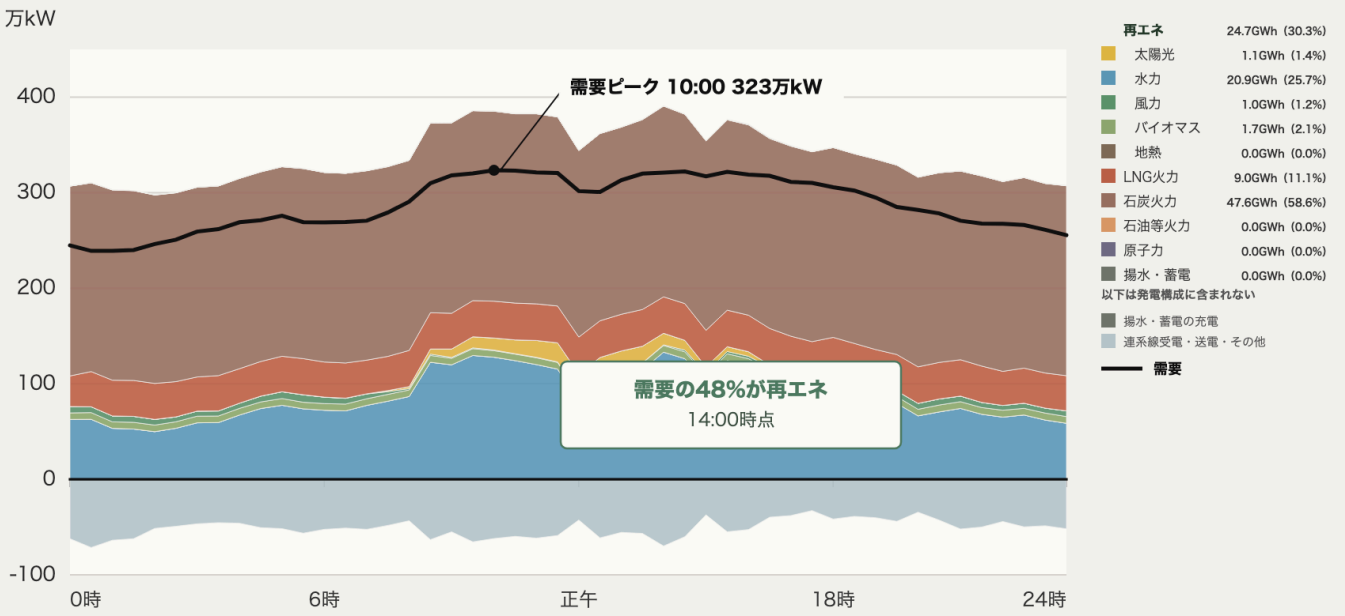
中部は、太陽光ピーク377万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.9%だった。

2026年10月20日の供給実績

北陸エリア

再エネ
24.7GWh
（発電電力量ベース30.3%）

北陸エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
81.3GWh

需要ピーク
10:00、323万kW

連系線・その他
12.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

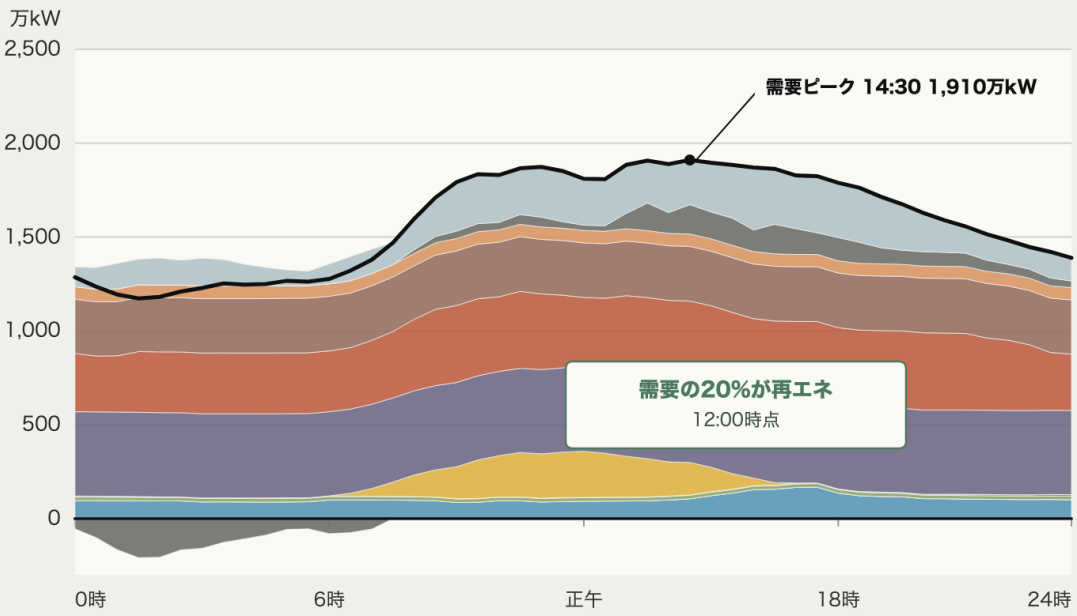
北陸は、太陽光ピーク24万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は47.6%だった。

2026年10月20日の供給実績

関西エリア

再エネ
46.5GWh
（発電電力量ベース13.6%）

関西エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 341GWh
（3,415万kWh）

再エネ	46.5GWh (13.6%)
太陽光	16.2GWh (4.7%)
水力	25.1GWh (7.3%)
風力	0.9GWh (0.3%)
バイオマス	4.4GWh (1.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	89.1GWh (26.1%)
石炭火力	69.6GWh (20.4%)
石油等火力	15.9GWh (4.6%)
原子力	107.7GWh (31.5%)
揚水・蓄電	12.7GWh (3.7%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
341.5GWh

需要ピーク
14:30、1,910万kW

連系線・その他
46.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
8.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

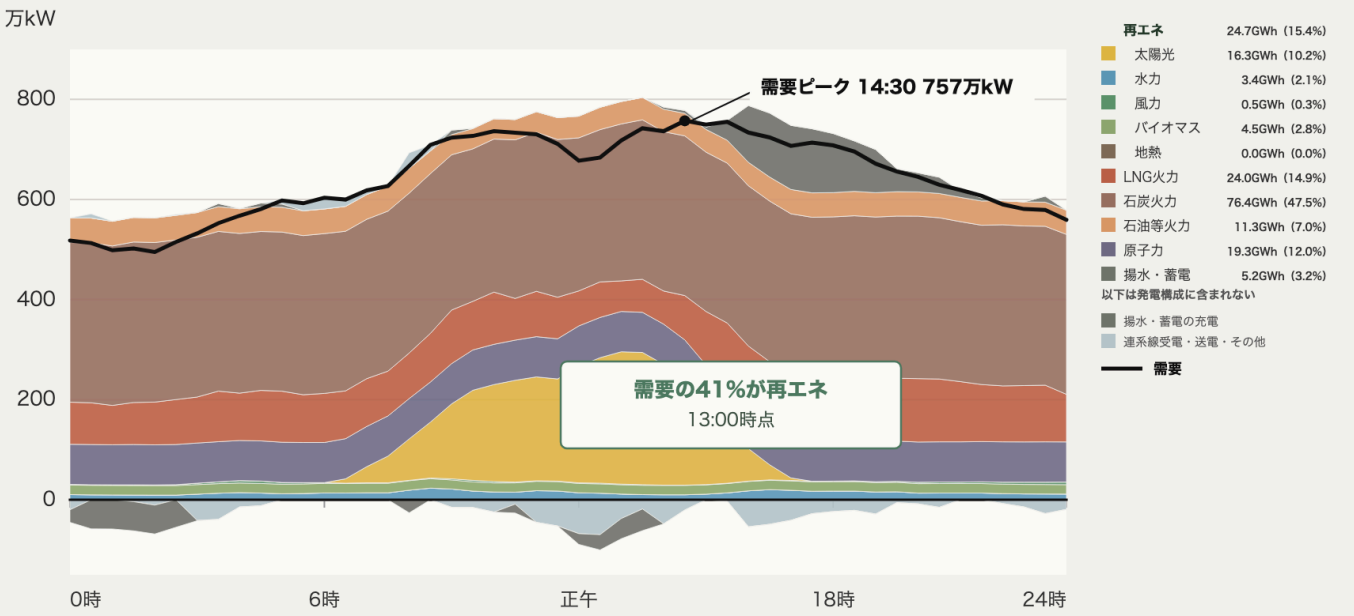
関西は、太陽光ピーク245万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.8%だった。

2026年10月20日の供給実績

中国エリア

再エネ
24.7GWh
（発電電力量ベース15.4%）

中国エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
160.8GWh

需要ピーク
14:30、757万kW

連系線・その他
4.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

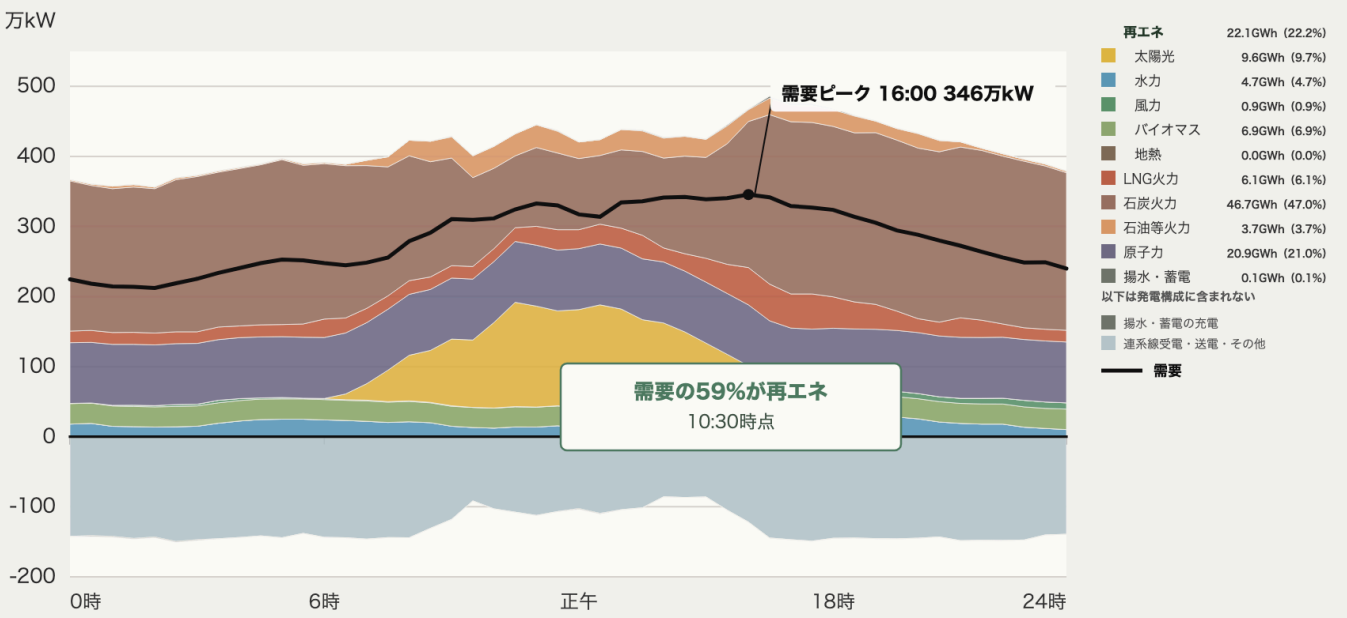
中国は、太陽光ピーク264万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は41.5%だった。

2026年10月20日の供給実績

四国エリア

再エネ
22.1GWh
（発電電力量ベース22.2%）

四国エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
99.5GWh

需要ピーク
16:00、346万kW

連系線・その他
31.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

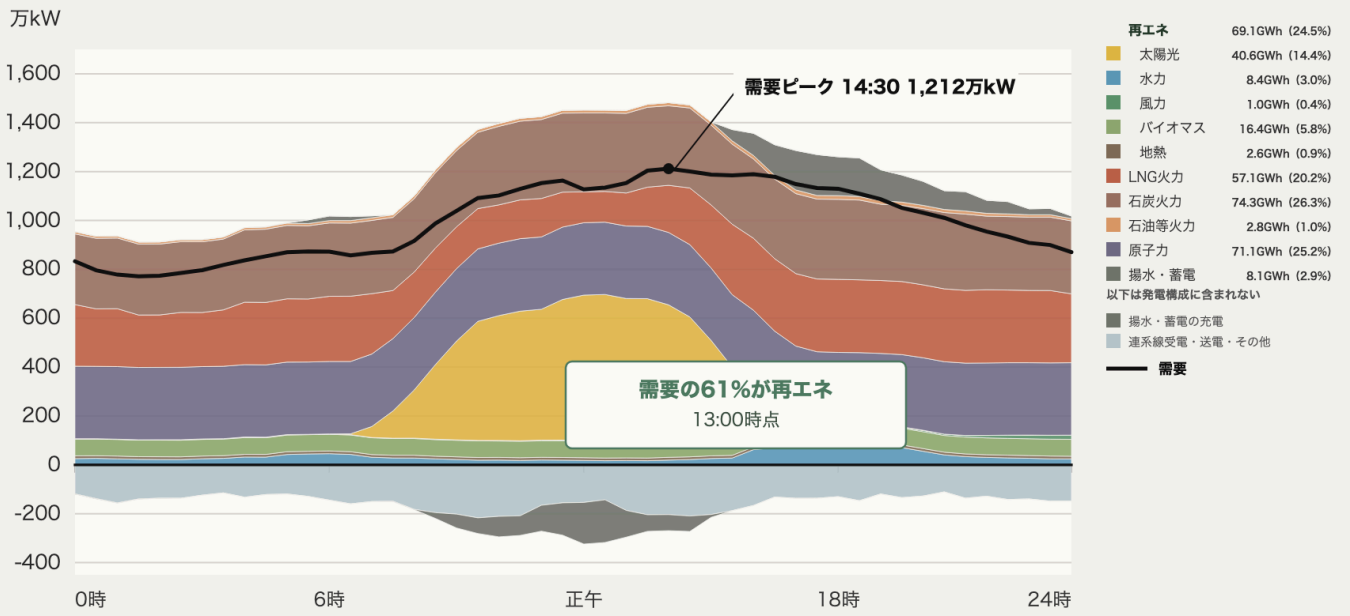
四国は、太陽光ピーク149万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.9%だった。

2026年10月20日の供給実績

九州エリア

再エネ
69.1GWh
（発電電力量ベース24.5%）

九州エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
282.4GWh

需要ピーク
14:30、1,212万kW

連系線・その他
36.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
6.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

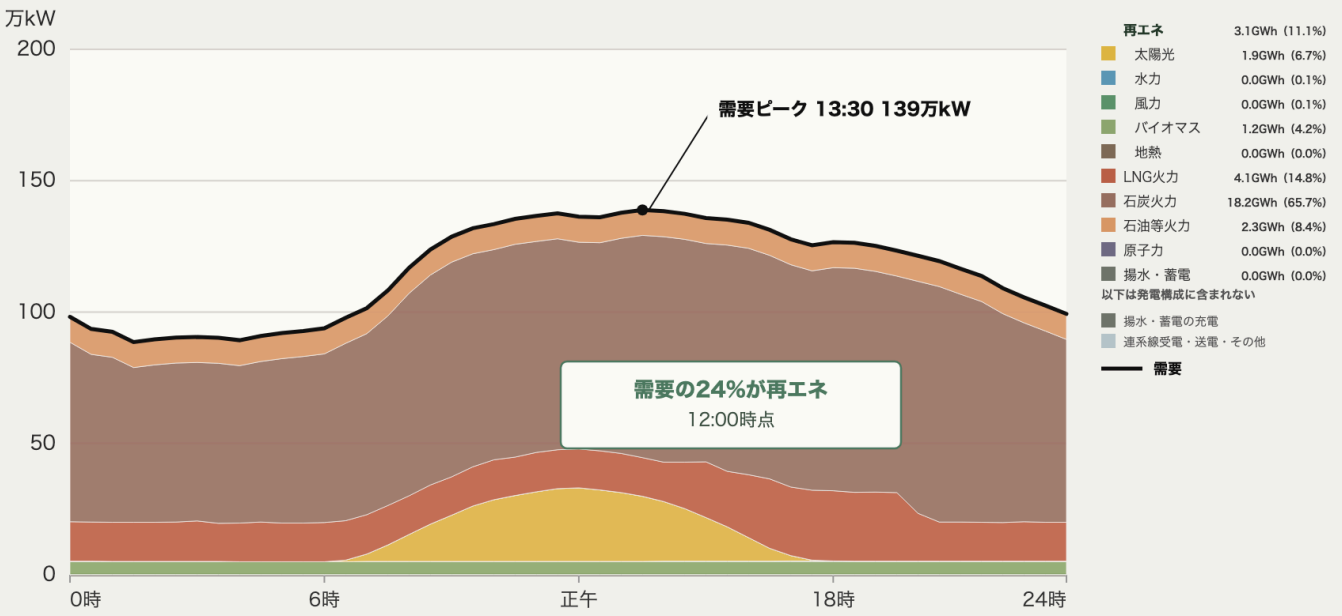
九州は、太陽光ピーク597万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.6%だった。

2026年10月20日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.1GWh
（発電電力量ベース11.1%）

沖縄エリア 2026年10月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
27.7GWh

需要ピーク
13:30、139万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.3%だった。